

# IFRS news

## 会計基準を向上させる

February 2012

基準設定に対する取り組みとコンバージェンス・アジェンダに関する課題について、国際会計基準審議会（IASB）の Hans Hoogervorst 議長が IFRS news のインタビューに応えました。

### IASB全体としての戦略はどのようなことでしょうか？

答えは本当に極めてシンプルです。IASB の業務は、投資家に高品質の情報を提供する単一でグローバルに一貫した財務報告基準を開発することです。同時に我々は、国や地域の公の規制当局や他の国際機関と協力し、これらの基準の世界的な適用を後押しすることです。

実務上、もっとも高度なレベルの基準となるように、米国財務会計基準審議会（FASB）と合同で進める現在の作業計画を完了させることを意味しています。つまり、引き続き我々の将来の課題に取り組み、IASB とその関係者との組織的な関係を強化していくことを意味します。

### この短期間のあいだに議長が直面した最大の課題とは何ですか？

二つの主な課題があります。1つめの課題は、IASB と FASB が、収益認識、リース、および金融商品の残りのコンバージェンス・プロジェクトを合同で完了させることです。2つめの課題は、残りの主要な経済国に議論に参加するよう働きかけることです。

1つめの課題に関して、我々は、収益認識およびリース会計基準に改善をもたらすための作業をかなり進めています。この作業の重要性を鑑み、両基準についてコメントを募集するために公開草案を再公表しました。それと同時に、論点のすべてを十二分に把握するためにこれらのプロジェクトについて前例のない数のアウトリーチ活動を重ねており、意図しない結果を招くことをできる限り回避してきています。

残りのコンバージェンス・プロジェクトは金融商品です。私は、金融商品プロジェクトの多くの領域においてコンバージェンスされた解決に非常に近づくだらうとかなり希望をもっています。しかし、両審議会が違う方向に引っ張られており、そのためこれは難しい任務になっています。我々はそれぞれにできる限りの対応するよう努めてきました。しかしこれが、コンバージェンスの達成を非常に困難なものにしているのです。

### 優れた会計基準の要件とは何でしょうか？

私が考える優れた会計基準とは、高品質で比較可能な情報を投資家に提供するものの、財務諸表作成者の負担を最小限に抑えるやり方でそれを行う基準です。会計基準は、先進国や新興国の各国で適用可能、監査可能、強制可能でなければなりません、実務上のばらつきにつながらないようにしなければなりません。それは高いハードルかもしれませんが、我々が真剣に取り組んでいることです。

これを実現するにはさまざまな手法があります。我々は、才能豊かな人たちが地理的にも専門職的にも多様なところから集まっている審議会です。その業務は、綿密でしっかりとした包括的なデュープロセスからの恩恵を受けています。基準設定プロセスへの幅広い参加を歓迎しており、非常に透明性のあるやり方で異なる見解につい

て議論しています。自分たちが耳にした意見、どのような対応を行ったか、そして結論に達した根拠を説明するために時間をかけています。そのうえで、基準が意図したとおりに運用されていることを確かめるために、適用の数年後にその基準を再検討します。それは誰もが期待する多くのことについての再検討となります。

### **将来世界中の全ての国でIFRSに準拠して報告を行うことが訪れることに対する最大の障害とはどのようなものでしょうか。そのような日は来るのでしょうか？**

私は、そのような日が来ると思います。問題は、それが、いつ、どのようにして来るのかです。グローバルな会計基準は、金融市場が世界的に相互関連していくなかでの避けては通れない帰結です。その最大の障害は政治的な思惑であり、その多くはG20の首脳およびその他の提言の中に含まれていると思います。米国においてさえ、グローバルな会計基準への支持は、SECの方針であり米国政府の政策によるものです。しかし、SECは独立した機関であり、独自の独立した意思決定プロセスを経ることになります。

### **どのようにIASB議長としての成功を測りますか？**

最も重要なことの一つは、組織と仕事に対する尊敬です。基準設定プロセス全体を通して幅広い意見を求めたか、論点を慎重に検討してきたか、最善と考えられる基準を開発したか、そのような基準を世界中で確実に適用可能なものになっているか、そして意図しない結果の回避を探し求めたか？

すべての人がその答えに満足するわけではありません。しかし、私の考えでは、独立した基準設定主体として行ってきた仕事の手法に対する尊敬が、その成功を測るものだと思います。

### **最近SECがIFRSに関する二つのスタッフペーパーを公表しましたが、それについてどのようにお考えですか？**

両方とも現在の作業状況を非常によく評価していると思います。

最初のスタッフペーパーは、IFRSの適用が義務付けられているところでいかにうまくIFRSを適用しているかを説明しています。SECスタッフは、分析の対象となった財務諸表は概ねIFRSの規定に準拠しているものの、主に、会計方針の開示の不足およびそれぞれの会計基準がどのように適用されているかについての説明不足のために不整合が見受けられたと結論付けています。

基準の首尾一貫した適用については、世界中の基準設定主体、証券規制当局および市場監督当局にとっての重要な課題です。これは、評議員会が我々に注視するよう促してきたポイントです。しかしながら、この問題はIFRSだけの問題ではないことを認識しておくことも重要です。ウォールストリート・ジャーナルは、今回の分析結果は、US GAAPを適用するフォーチュン 500社に対するSECによる初期の調査結果に似ていると言っています。企業がIFRSを適用しているか、US GAAPを適用しているかによって、適用に一貫性がないという問題が生じています。

しかし、重要なポイントはつまり、こういうことです。もしひとつの会計用語しかないのであれば、首尾一貫した適用に向けて作業するだけだ、そしてIFRSがその唯一候補となるものだ、と。

2つめのスタッフペーパーは、IFRSとUS GAAPの相違点を上げたもので、大きな意外な点は含まれていません。このスタッフペーパーは、両審議会がIFRSとUS GAAPを調和させる上で目覚ましい前進を遂げたことを認めています。しかしながら、このスタッフペーパーは、特に詳細において相当数の差異が残っていることも指摘しています。

これらの差異の多くはそれほど重要なものではありません。しかし、コンバージェンス・プロセスを通じてそれらを取り除くためにはとても長い年月がかかるでしょう。だから私は、経済的便益がそれほど追加されるわけでもないのに変更のためにかなりのコストを伴うことを省みずに、些少な差異をなくすためにあと10年かけるのは、米国や世界の他の国の投資家にとって最善の利益ではないと、より確信するようになりました。それはまた、なぜ今がIFRSを米国の財務報告制度の中に組み入れることに、前向きな決定を下すチャンスなのかの理由でもあります。

## **SECがIFRSについて前向きな決定を下さない場合には、IASBはコンバージェンスをあきらめますか？いつ、米国の言い逃れに「待った」をかけるつもりですか？**

FASB の Leslie Seidman 議長と私は、残り少ないプロジェクトを完了した時点でコンバージェンス・プログラムに「待った」をかけなければならないということで意見が一致しています。コンバージェンス・プログラムは、IFRS と US GAAP を改善し調和させるためには非常に有益なメカニズムを提供しています。しかし我々は、今が将来に目を向ける時だと考えています。SEC の前向きな決定によって、FASB は今後も IFRS の進展に非常に積極的な役割を果たし続けるでしょう。

## **この仕事で最も楽しいのはどのようなことですか？**

私は、自分のやっていることに情熱をもって取り組んでおり、組織の目標達成のために役に立とうと一生懸命に働いている熱心で若い才能を持った人々と共にこの仕事をしています。非常に強力な公共利益に対する倫理感をもった組織で働くのは楽しいことです。世界中のとても興味深い所に出向いて、我々が行っている仕事に携わっている人々に会う機会も楽しんでいます。

基準の技術的に詳細なことも難しい問題でしょう。しかし、会計基準設定について比較的新たに参入したものであることが私にとって助けとなり、議論の多くに新鮮な視点を提供することができたと思っています。

## **次のボードメンバーはどこから選出されますか？**

評議員会が候補者の国際的な公開調査を行った後に、ボードメンバーが選定されます。メンバー選定の第一の要件は、IFRS に関わる実務経験があることです。評議員会は、地理的な要件も考慮します。また、2012年7月までにボードメンバーの人数を16人まで増やすことは彼らの目標です。

評議員会は、中国のボードメンバーである Wei-Guo Zhang と英国のボードメンバーである Stephen Cooper の任期をさらに5年間延長したばかりです。Paul Pacter も、評議員会が彼の後継者を任命するまで、さらに6カ月間任期を延長することに同意しています。

現在そして今後の空席を埋めるために3人の任命が残されています。Elke König が、2012年12月末にIASBを退任し、ドイツ連邦金融監督庁長官に就任します。また、John Smith は2011年6月に退任します。IASB ボードメンバーを2012年7月までに16名まで増員するよう定款を改訂することにより、もう一つボードメンバーのポジションが増えることになります。

## **クイック・レスポンス**

Q: コーヒーか？紅茶か？

A: コーヒー

Q: レストランか？家庭料理か？

A: 家庭料理

Q: 貸借対照表か？損益計算書か？

A: 損益計算書

あらた監査法人  
東京都中央区銀座 8丁目 21番 1号  
住友不動産汐留浜離宮ビル(〒104-0061)  
お問い合わせ: [aratapr@jp.pwc.com](mailto:aratapr@jp.pwc.com)

This publication has been prepared for general guidance on matters of interest only, and does not constitute professional advice. It does not take into account any objectives, financial situation or needs of any recipient; any recipient should not act upon the information contained in this publication without obtaining independent professional advice. No representation or warranty (express or implied) is given as to the accuracy or completeness of the information contained in this publication, and, to the extent permitted by law, PricewaterhouseCoopers LLP, its members, employees and agents do not accept or assume any liability, responsibility or duty of care for any consequences of you or anyone else acting, or refraining to act, in reliance on the information contained in this publication or for any decision based on it.

© 2012 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.